

データ保護に関する情報

富士フィルムホールディングス株式会社（以下、「FH」、または「当社」）は、ウェブベースの内部通報システム（以下、「DQ システム」）を使用して、当社の直接および間接的な子会社（当社と併せて「富士フィルムグループ会社」）、支店、当社およびその従業員に関する特定のコンプライアンス違反の通報手段を提供します。DQ システム内の個人データの処理は、ヨーロッパ、中東およびアフリカに所在する富士フィルムグループ会社の正当な利害関係に基づいており、当グループでの不正行為を検出して防止し、結果として富士フィルムグループ会社、その従業員および顧客への損害を防ぎます。

当社は、データ保護と機密保持を非常に真剣に受け止め、EU 一般データ保護規則（以下、「EU-GDPR」）の規定ならびに内部通報システムの運営を管理している現行の国内データ保護規則および他の法律を遵守しています。以下は、DQ システムを介して提出される通報に含まれる可能性がある個人データの取扱いの説明です。個人データとは、電子メールアドレス、電話番号、役職、所在地データなどの個人を特定する、または少なくとも個人を特定可能にする任意の情報を意味します。

責任当事者と技術保守

富士フィルムグループにおける DQ システムの使用と通報処理の責任当事者は、富士フィルムホールディング株式会社（日本国東京都港区赤坂 9 丁目 7-3）です。

DQ システムの技術的なオペレーションおよび保守は、FH に代わって、第三者の株式会社ディー・クエスト（日本国東京都千代田区神田駿河台 3-4、龍名館本店ビル 12 階）（以下、「DQ」）が実施します。DQ システムに入力される個人情報、EU にある高セキュリティデータセンターで運用されるデータベースに保存されます。すべてのデータは暗号化され、仮名化され、パスワードで保護されます。その後、DQ の 2 つの日本のサーバーに転送されます。そこでさらに記号化され、最終的に DQ の報告サーバーに保存されます。その後、FH は DQ から通報の連絡を受けます。

通報の機密扱い

提出された通報は、FH ESG (環境、社会ガバナンス)部門の CP&RM (コンプライアンス&リスク管理) グループ（以下、「FH CP&RM グループ」）に所属する、明確に任命され、特別に教育を受けた少人数の従業員によって、厳格な機密保持の下で取り扱われます。DQ が委託したドイツの法律事務所が、データが FH CP&RM グループに転送される前に、個人データを識別、削除し、すべての通報を匿名化します。FH CP&RM グループは、このような匿名化された通報のみに基づいて問題を評価し、さらに内部調査を行い、要請があれば、必要に応じて、他の FH 社内部署（人事、法務または経理など）および関連の FH 子会社を関与させます。FH CP&RM グループは、DQ システムを通じてのみ、および内部通報者の事前の明示的な同意がある時のみ、関連の内部通報者に連絡を取ることができます。FH CP&RM グループは、内部通報者の通報に記載される関係者の個人データにアクセスできる場合があります。

通報処理中または内部調査中に、他の従業員、FH 子会社の部門または外部調査専門家と通報を共有することが必要になる可能性があります。これらの活動に関与するすべての人は、職業上の秘密に従うか、適切な契約上の取り決めによって守秘義務を負うものとします。

EU/EEA 外の受領者との情報の共有

内部調査を実施または完了するために、通報に記載された個人データは、富士フイルムグループ企業または欧州連合（以下「EU」）もしくは欧州経済領域（以下（EEA）外、具体的には日本の第三者に転送される場合があります。欧州委員会は、2019年1月をもって、日本が適切なレベルの個人データ保護を確保していると認定したため、個人データは、第三国への転送に通常必要とされる追加の保護措置を実施する必要なしに、EU、EEA および日本間で転送することができます。処理場所に関して重大な変更がある場合は、過度の遅滞なくこのような変更を適正に通知し、データの安全性を確保するために必要な保護措置を実施するものとします。

政府機関のアクセス

FH は、政府機関または裁判所にコンプライアンス違反に関する情報を提供することを法律によって義務付けられている場合があります。この場合、会社資産の紛失または没収の場合と同様に、当社は、提供された情報を留めておくことができない可能性があります。

収集される個人情報の種類

DQ システムの使用は任意です。別段で明記されていない限り、DQ システムの使用に法定義務または契約上の義務はありません。DQ システムを介して通報を提出した場合、以下の個人データおよび情報が収集され処理される可能性があります。

- 氏名 身元を明かすことを選択した場合のみ。（管轄地域・国によっては必須です。その場合は、DQ システムの使用の際に表示されます）、
- 会社名、地位 明かすことを選択した場合のみ。 電子メールアドレス、および
- 通報に名を挙げられ記載された人の氏名または他の人の個人データ。

被疑者の情報

原則として、当社は、被疑者に対して、その人物に関する通報を受け取ったことを通知する義務があります。このような情報は、通報を効果的に調査する当社の能力を損なう可能性があります。このようなリスクがある限り、被疑者への情報提供は遅れることがあります。

データ主体の権利

EU-GDPR によると、通報者と通報に名を挙げられた人は、アクセス、修正、削除、制限する権利および関連する個人データの処理に異議を申し立てる権利を有しています。さらに、自分の個人データの処理に関して懸念がある場合は、適用される法律および規制に従って、管轄監督機関に苦情を申し出る権利を有しています。この目的のために、常居所の EU 加盟国または違反の疑いのある場所の監督機関に連絡することができます。

ただし、内部通報者の保護を確保するために、前述の権利は制限される場合があります。内部通報者が自分の身元を明かしたとしても、内部通報者の通報で通報された人は、通報された人のアクセス権に基づく、いかなる状況においても、内部通報者の身元に関する情報を当社から得ることはできません。ただし、内部通報者が通報された人に関して、悪意から虚偽の発言を行った場合を除きます。それ以外のすべての場合において、当社は、法律上可能な範囲で、内部通報者の機密性を保証します。

個人データの保持期間

当社は、常に不正行為の疑いに対する調査を迅速に行い、合理的に可能な限り速やかに調査を完了するよう努めます。個人データは、状況の明確化および通報の評価に必要である限り、富士フイルムの正当な利益が存在するか、または法律で義務付けられている限りにおいてのみ保持されます。通報の処理が終了した後、このデータは摘要される法定要件に従って削除されます。

通報用ポータルの使用

コンピューターと DQ システム間の通信は、暗号化されたインターネット接続 (SSL) を介して行われます。IP アドレスは、通報システムの使用中には保存されません。コンピューターと DQ システム間の接続を維持するために、セッション ID のみ含むクッキー (いわゆる null クッキー) がコンピューターに保存されます。この null クッキーは、セッションの終了までのみ有効であり、ブラウザを閉じるかデバイスの電源を切ると失効します。

FH CP&RM グループと連絡を取りたい場合は、電子メールアドレスの提供が必要となります。この電子メールアドレスは DQ によって機密情報として扱われ、DQ システムの運用に使用される欧州のデータセンターにのみ保存されます。この電子メールアドレスは、お客様と DQ システム間の連絡のみに使用されます。お客様の事前の同意がある場合を除き、DQ システムから弊社に電子メールアドレスが転送されることはありません。お客様と当社間のすべての連絡は、DQ および DQ システムを経由して間接的に行われます。EMEA 地域のユーザーで完全に匿名を希望する場合は、電子メールアドレスを記載せずに報告を提出する必要があります。ただし、その場合、FH CP&RM グループは、通報された問題に関して、回答したり、質問をしたり、連絡を取ったりすることができません。

同意と自発性

DQ システムを使用することによって、提供された範囲内で、上記のように、個人データが収集され、処理され、使用されることに同意するものとします。上記のように、FH に個人データを収集、処理および使用されたくない場合は、適用法で許可される範囲内で、匿名で通報を提出することができます。個人データの開示は、DQ システムの使用と同様に任意です。

しかし、内部通報者の名前が分かっている場合、多くの内部調査が容易になる可能性があるため、氏名および連絡先の詳細を記していただければ幸いです。

上記に記載された個人データ情報を提供することは、法的または契約上の要件ではなく、また、上記に別段の定めがある場合を除き、当社とコンタクトを取る必要もありません。任意で DQ システムを使用し、上記のように通報者側が必要なデータを提供しない場合、DQ システムを介して持ち込まれた申し立ての調査における FH の有効性が制限される可能性があります。